



SNS分析(傾向把握)技術

富士ゼロックス株式会社

特許番号:第5895756号

発明の名称:情報分析プログラム及び情報処理装置

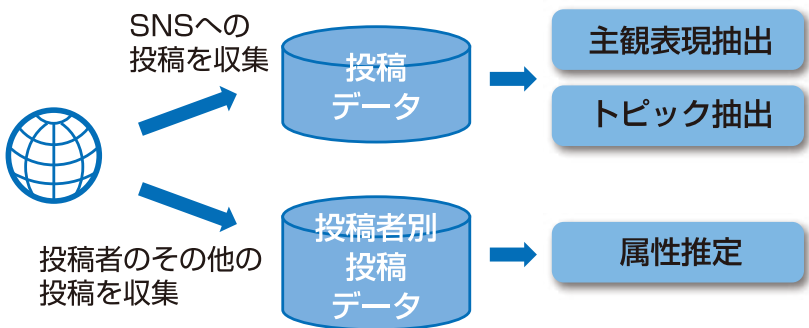
特許技術の概要

A.I.技術で文章を解析し、その文章が「ポジティブ」な文章なのか、「ネガティブ」な文章なのかを分析する技術。

【適用例】

SNS上に投稿された、特定の商品名を含むコメントを分析することで、その商品について「ポジティブ」「ネガティブ」いずれの意見が寄せられているかを分析できる。これにより、消費者の傾向分析が可能となる。

〈分析イメージ〉



【ソーシャルリスニング】

対象とする商品、サービスに対するツイートを収集し、下記の情報を提供。

○好感度分析(ポジティブ/ネガティブ分析)

商品、サービスに関する投稿が「ポジティブ/ネガティブ/中立」のいずれの感情なのかを分析。

○ユーザー層分析(反応ユーザーのプロファイリング)

反応しているユーザーの年代、性別、職業、普段の関心ごとを分析。

○トピック抽出(話題となっているポイントの把握)

収集したツイートに多く現れる話題をトピックとして提示。

【マッチング】

ソーシャルリスニングの結果と、ユーザーが保有する顧客リストの属性情報とを富士ゼロックスが独自開発したレコメンドエンジンによってマッチング。これにより、リアルタイムな市場情報を反映した推薦を実現。

応用例・活用アイデア

○顧客ニーズや傾向の把握、特定の顧客に適した推薦商品の選定など、商品、サービスのターゲット層の分析を行うシステムの開発など。